

評価結果概要表

【評価実施概要】 作成日 平成21年10月3日

事業所番号	2771200306	評価機関名	特定非営利活動法人 近畿マネジメント・サポート・センター
法人名	株式会社ティール・エッチ・アイ	所在地	大阪市東住吉区山坂5丁目5番14-103号
事業所名	グループホーム なぎさ	評価調査日	平成 21 年 9 月 25 日
所在地	大阪府泉南郡岬町淡輪4658番1 電話 072-488-2555	評価確定日	平成 21 年 10 月 5 日

【情報提供票より】 (平成21年8月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成14年9月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数	18 人
職員数	20人常勤 11人 非常勤 9人	常勤換算	15.5人

(2) 建物概要

建物の構造	単独 鉄骨 2階建ての (1階～ 2階部分)
-------	----------------------------

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (1月)	33,000円	その他の経費	24,000円
敷金	無 ()		
保証金の有無 (入居一時金を含む)	無		
食材料費	朝食	円	昼食
	夕食	円	おやつ
	または1日当たり 1,100円		

(4) 利用者の概要 (8月1日現在)

利用者人数	17名	男性	2名	女性	15名
要介護1	2名	要介護2	3名		
要介護3	11名	要介護4	1名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢 平均	83才	最低	64才	最高	95才

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人 なぎさ会 医療法人 野上病院 村正歯科医院
---------	-------------------------------

【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

平成14年のグループホームとしては初期の開設で7年目、地域医療の一部を担当しているクリニックに併設しており、利用者や、ご家族から何よりの信頼を得ています。職員は全員が社員で、経験年数が5年以上の者が主力となっています。利用者は、それぞれ楽しい日々を過ごしており、特に、昼食時は笑い声が聞こえ、和やかなムードが感じられます

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況 (関連項目: 外部4)
	職員への経営理念による介護は、会合の都度、指導が行われている。地域の方々との交流は日常の活動の中で徐々に進めているが、職員が殆ど地域外からの通勤なので、万全とは言い難い。しかし、焦らずに長い目で見守りたい。口腔ケアについては、毎月、医師による往診で処置が行われている
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	管理者が下書きした内容を基に、実績及び今後の課題につき職員と話し合いを数回重ねて作成している。特に、中核となる職員のキャリアが5年以上となっているので、安定した取り組みを実施している
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み (関連項目: 外部4、5、6)
	運営推進会議の主な討議内容は、委員側からの情報提供で、ホーム側からは、前回以降の経過報告と、その内容についての質疑応答が行われている
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7、8)
	ご家族へは毎月の報告文書で、利用者の近況を報告し、運営推進会議には、ご家族代表の出席を頂いている。又、ホームに来訪されたご家族には、職員が一人ひとりの近況説明を詳しくしており、現在、ご家族アンケートにもホームでの生活について、ご不満は無かった
重点項目⑤	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	近隣にある幼稚園の園児と、親しく和やかな交流が行われている。但し、近在の方々との交流は閑散な地域のため、外出散歩時や、地域の行事の際の挨拶以外はあまりありません

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
1 理念と共有					
1	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「認知症の要介護者に、家庭的な環境で食事、排泄、入浴、睡眠等の介護と、残された身体機能を活用した日常生活ができるように」との理念を掲げている		
2	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	経営理念を玄関と職員事務コーナーに掲示し、ご家族に熟知して頂くと同時に、職員には意識ある行動を訴えている		
2 地域との支えあい					
3	5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	事業所は、地域唯一の高齢者介護施設として、近在の方々に知って頂けるよう努めている。又、地域行事にも参加させて頂いている		
3 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、計画作成者は外部評価の意義を理解し、自己評価を職員と話し合いを重ねて作成している		
5	8	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	運営推進会議では、地域唯一のグループホームとして、認知症への取り組み状況について報告をしている	○	運営推進会議の開催は2ヶ月毎とされているので、改善を図って欲しい。委員には、是非、民生委員を加えて欲しい
6	9	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域唯一のグループホームでもあり、町庁の担当課との交流は常に行われている		
4 理念を実践するための体制					
7	14	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている	ご家族への毎月の文書発送で、近況を報告をし、更に、来訪時にも詳細な報告をしている。又、夏には納涼会を開催し、ご家族と近隣の方々との交流を図っている	○	ご家族の質問、要望等は記録に残し、改善に役立させて欲しい
8	15	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議には、ご家族代表に出席して頂き、発言もしてもらっている。又、来訪された機会にも詳細な近況報告をし、運営に反映させている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9	18	<p>○ 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		

5 人材の育成と支援

	10	19	<p>○ 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>		
	11	20	<p>○ 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている</p>		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12	26	<p>○ 馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>		
--	----	----	---	--	--

2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13	27	<p>○ 本人と共に過ごし、支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>		
--	----	----	---	--	--

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1 一人ひとりの把握

	14	33	<p>○ 思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	○	職員には、それぞれの記録を閲覧した後に、サインをするように、させて欲しい
--	----	----	--	---	--------------------------------------

2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

	15	36	<p>○ チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>		
--	----	----	---	--	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	利用者に変化が見られれば、職員、ご家族、関係者と相談して新たな対応をしている		
3 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者、ご家族の要望に応じて、事業所として出来る支援を行っている		
4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している	隣接のクリニックの掛かりつけ医師の指導を頂きながら、適切な支援をしている		
19	47	○ 重度化や週末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	殆どの場合、隣接クリニックの医師の指導に従い、本人とご家族との話し合いで方針を共有している		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1 その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は常に、利用者の一人ひとりの個人情報の取扱いには、十分、配慮している		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は、お一人ごとの趣味等を把握しており、ご希望に沿うように配慮している		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューは職員が作成し、ご希望にも応じるようにしている。利用者には食事の前後の準備、配膳、片付け等について、出来る方には手伝ってもらっている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	23	57	<p>○ 入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		

(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

	24	59	<p>○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		
	25	61	<p>○ 日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している</p>	○	散歩コースのルートを2～3定め、楽しそうなネーミングで、出来るだけ戸外に出るよう支援して欲しい

(4) 安心と安全を支える支援

	26	66	<p>○ 鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		
	27	71	<p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		

	28	77	<p>○ 栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	○	職員同士で、カロリー概算値の把握をして欲しい
--	----	----	---	---	------------------------

2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

(1) 居心地のよい環境づくり

	29	81	<p>○ 居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
	30	83	<p>○ 居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		